

プログラム

B 会場（5 階 サイエンスホール）

9:20

開会の辞

心血管薬理

座長：川崎博己、玉置俊晃

- 9:30 B-1 血管内皮細胞におけるシロスタゾールのテトラヒドロビオプテリン産生および活性酸素産生に対する抑制効果について
○池本和久、飛田弥生、白石弘章、一瀬千穂、野村隆英
(藤田保健衛生大・医・薬理)
- 9:42 B-2 ラット腸間膜動脈抵抗血管における内因性カンナビノイド アナンダマイドの血管反応とその発現機序
○玉木千尋¹、小田早希子¹、名和秀起²、川崎博己¹
(¹岡山大院・医歯薬学総合・臨床薬学、²同・病院薬剤部)
- 9:54 B-3 ラット培養心筋細胞における aldosterone 誘起 gap junction のリモデリングについての検討
○田中那奈、小原 幸、阿部正樹、内田雄吾、田中健太、大東 誠、鳥羽裕恵、中田徹男
(京都薬大・医療薬学・臨床薬理)
- 10:06 B-4 食塩感受性高血圧モデルラット腎動脈平滑筋における K⁺チャネル機能変化
○荻原和信、山村寿男、大矢 進、今泉祐治
(名古屋市大院・薬・細胞分子薬効解析)
- 10:18 B-5 腎性高血圧ラット腸間膜動脈における血管周囲一酸化窒素含有神経機能変化
○小山敏広、庄司知世、畑中由香子、合田光寛、芳原成美、高山房子、川崎博己
(岡山大院・医歯薬総合・臨床薬学)
- 10:30 B-6 アディポネクチンは IGF-1 によるラット大動脈血管平滑筋細胞の遊走を抑制する
○元林有紀¹、石澤啓介¹、折野早紀子¹、石澤（井澤）有紀¹、Narantungalag Dorjsuren¹、山口邦久¹、土屋浩一郎²、玉置俊晃¹

(¹徳島大院・ヘルスバイオサイエンス研・情報伝達薬理、
²同・分子生物薬学)

- 10:42 B-7 スタチンの多面的作用発現の分子機序の解析
○塩田正之、日下部裕美、疋田優子、中尾隆文、泉 康雄、岩尾 洋
(大阪市大院・医・分子病態薬理)
- 10:54 B-8 肥満及び脂質異常症呈するゼブラフィッシュモデルの作製と薬理ゲノミクス研究
○岡 岳彦、Liqing Zan、島田康人、平野 稔、田中利男
(三重大院・医・薬理ゲノミクス)

中枢神経薬理 2

座長：齋藤尚亮、山田清文

- 13:15 B-9 ICR 系および C57BL/6J 系マウスの海馬歯状回の神経新生ならびに情動行動に対する幼若期長期隔離飼育の影響
○小池宏幸、衣斐大祐、溝口博之、田熊一徹、山田清文
(金沢大院・自然科学・薬物治療)
- 13:27 B-10 種々の ADHD 治療薬と 5-HT_{1A} 受容体アゴニストの併用投与による自発運動抑制作用
○久保勝裕¹、土田理恵¹、新谷紀人¹、角田享也¹、吾郷由希夫¹
松田敏夫²、橋本 均¹、馬場明道¹
(¹大阪大院・薬・神経薬理、²同・複合薬物動態)
- 13:39 B-11 メタンフェタミンの中枢興奮作用におけるグルコルチコイド受容体アンタゴニストの作用
○有川申祐¹、矢田 幸¹、吾郷由希夫¹、馬場明道²、松田敏夫^{1,3}
(¹大阪大院・薬・複合薬物動態、²同・神経薬理、³同・医・子どものこころの分子統御機構研究センター)
- 13:51 B-12 マウス前頭葉セロトニン神経活性のメタンフェタミン慢性投与による感作
○中村茂生¹、有川申祐¹、矢田 幸¹、吾郷由希夫¹、馬場明道²、松田敏夫^{1,3}
(¹大阪大院・薬・複合薬物動態、²同・神経薬理、³大阪大院・医・子どものこころの分子統御機構研究センター)

- 14:03 B-13 脊髄小脳失調症 14 型における変異 PKC γ の C1A とキナーゼドメインを介した分子間相互作用・凝集体形成傾向の重要性
○高橋英之¹、足立直子¹、杉本卓弥²、中北順也¹、関貴弘³、入江一浩²、酒井規雄³、齋藤尚亮¹
(¹神戸大院・バイオシグナル研・分子薬理、²京大院・農・食生科、³広島大院・医歯薬総合・神経・精神薬理)

- 14:15 B-14 最大電撃痙攣により生ずる行動ならびに脳波におよぼす各種抗てんかん薬の影響
○村上 理、渡部裕介、武智研志、藤原彰訓、亀井千晃
(岡山大院・医歯薬総合・薬効解析)

細胞内情報伝達 1

座長：杉浦麗子、和田孝一郎

- 14:27 B-15 分子遺伝学的手法による PKC シグナル制御因子の同定と解析
○土井 章¹、喜多綾子¹、天谷美鈴¹、吉村美耶¹、安田光都子¹、石渡俊二¹、久野高義²、杉浦麗子^{1,2}
(¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬、²神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム)
- 14:39 B-16 アクチン結合タンパク質 Cis3 の MAP キナーゼ経路における働き
○高村 暁¹、石渡俊二¹、喜多綾子¹、久野高義²、杉浦麗子^{1,2}
(¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬、²神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム)
- 14:51 B-17 分裂酵母 Protein kinase C のターゲティング機構の解明
○村上貴之¹、杉浦麗子^{1,2}、宇野哲史¹、矢吹玲子¹、久野高義¹
(¹神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム、²近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬)
- 15:03 B-18 Cell integrity シグナルに関与する Pmk1 MAPK の新たな標的分子の同定とその機能解析
○高田宏文¹、西田藍子¹、甲斐直志¹、朝山雄太¹、酒井喜裕¹、土井 章¹、森内サヤ子¹、喜多綾子¹、石渡俊二¹、久野高義²、杉浦麗子^{1,2}
(¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬、²神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム)

- 15:15 B-19 PH ドメインを有するタンパク質 Slp2 のイノシトールリン脂質シグナル伝達経路における役割
 ○西山雄哉¹、久野高義¹、伊藤俊樹³、藤原まゆみ¹、大手梨恵子¹、喜多綾子²、杉浦麗子^{1,2}
 (¹神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム、
²近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬、
³神戸大院・医・生化学・分子生物学 膜生物)
- 15:27 B-20 分裂酵母モデル生物を用いたクラスリンアダプター複合体と低分子量 G タンパク質 Rho3 の機能的関係
 ○竹島沙織¹、田中茉莉子¹、喜多綾子¹、高田宏文¹、頓田祥子¹、鬼頭祥子¹、久野高義²、石渡俊二¹、杉浦麗子^{1,2}
 (¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬、
²神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム)

細胞内情報伝達 2

座長：郭 哲輝、久野高義

- 15:39 B-21 RNA 結合タンパク質 Nrd1 による細胞質分裂の制御機構
 ○佐藤亮介¹、森田貴大¹、渡邊沙羅¹、高田宏文¹、喜多綾子¹、石渡俊二¹、久野高義²、杉浦麗子^{1,2}
 (¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬、
²神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム)
- 15:51 B-22 分裂酵母 Neuronal calcium sensor ホモログ変異体の単離と機能解析
 ○小野庸一郎¹、杉浦麗子^{1,2}、大草智代¹、何易¹、久野高義¹
 (¹神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム、
²近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬)
- 16:03 B-23 PDK1 (Phosphoinositide dependent kinase1) シグナル伝達経路の分子遺伝学的解析
 ○大谷義昭¹、塩崎真人¹、武野英義¹、杉浦麗子²、久野高義¹
 (¹神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム、
²近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬)
- 16:15 B-24 TRP 型カチオンチャネルをコードすると思われる分裂酵母遺伝子の機能解析

○宮本奈央¹、馬艶¹、蛭名秀峰¹、下村彩子¹、杉浦麗子²、
久野高義¹
(¹神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム、
²近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬)

16:27 B-25 ストレス応答 MAPK シグナルにおける内因性カルシニューリン抑制
因子 Cbp1 の役割

○西田藍子¹、高田宏文¹、桂幸作¹、甲斐直志¹、喜多綾子¹、
土井章¹、石渡俊二¹、久野高義²、杉浦麗子²
(¹近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬、
²神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム)

16:39 B-26 Zinc finger 型転写因子 Prz1 過剰発現株の確立と制御因子の探索

○大本浩嗣¹、杉本敏美¹、田畑由紀¹、前川貴代¹、杉浦麗子^{1,2}、
久野高義¹
(¹神戸大院・医・ゲノム科学 分子薬理・薬理ゲノム、
²近畿大・薬・分子医療・ゲノム創薬)

C 会場 (5 階 501-503)

中枢神経薬理 1

座長：稲野辺 厚、谷浦秀夫

- 9:30 C-1 アストロサイトにおける thrombin 誘発形態変化および TRPC3 発現誘導の解析
○杉下亜維子、中尾賢治、白川久志、中川貴之、金子周司
(京都大院・薬・生体機能解析)
- 9:42 C-2 三環系抗うつ薬 Nortriptyline によるアストロサイト内向き整流性 Kir4.1 チャネル阻害の分子機構
○古谷和春¹、大野行弘^{1,2}、日比野 浩¹、稲野辺 厚¹、倉智 嘉久¹
(¹大阪大院・医・分子細胞薬理、²大阪薬大・薬・薬品作用解析)
- 9:54 C-3 NMDA 受容体の新規シグナルとしての 5'-AMP-activated protein kinase の活性化と GABA_B 受容体のリン酸化
○折田将成、山下智美、杉山千絵、倉本展行、荻田喜代一
(摂南大・薬・薬理)
- 10:06 C-4 グルタミン酸の可視化で探る中枢シナプスの伝達様式
○坂本寛和、並木繁行、飯沼 将、廣瀬謙造
(名古屋大院・医・細胞生理)
- 10:18 C-5 PTSD 発症に関連する海馬内遺伝子の探索
○玉置啓祐¹、鎌倉昌樹²、前田紗弥香¹、米田幸雄¹
(¹金沢大院・自然科学・薬物、²富山県大・工・生物工学)
- 10:30 C-6 神経系前駆細胞の機能に対する持続的静磁場曝露の影響
○石岡佑吉、神戸悠輝、中道範隆、米田幸雄
(金沢大院・自然科学・薬物)
- 10:42 C-7 セロトニン神経由来細胞株 RN46A におけるセロトニントランスポーターの機能解析
— 疾患感受性変異体を用いた検討 —
○田中杏奈、信国磨理子、天野 託、関 貴弘、秀 和泉、酒井規雄
(広島大院・医歯薬総合・神経精神薬理)

- 13:15 C-8 プロテアソーム阻害剤による活性酸素種の産生を介した神経細胞死の誘導
○山室晶子, 大嶋優, 吉岡靖啓, 笠井淳司, 前田定秋
(摂南大・薬・薬物治療)
- 13:27 C-9 アルドステロンの非ゲノム作用による NADPH oxidase の活性化と心筋細胞アポトーシスの誘導についての検討
○阿部正樹、小原 幸、林 宏憲、内田雄吾、田中健太、大東 誠、田中那奈、鳥羽裕恵、中田徹男
(京都薬大・医療薬学・臨床薬理)
- 13:39 C-10 Monad 結合蛋白質 Monad binding protein 1 / RPAP3 のアポトーシス増強作用
○伊月悠貴^{1,2}、佐伯万騎男¹、入江康至³、西條將文⁴、田中亀代次⁴、矢谷博文²、上崎善規¹
(¹大阪大院・歯・薬理、²同・補綴第一、³岩手医大・医・薬理、⁴大阪大院・生命機能・細胞機能)
- 13:51 C-11 扁平上皮癌細胞の増殖・浸潤におけるロイコトリエン B₄ 受容体シグナルの役割
高橋菜穂^{1,2}、○小浜恵子²、和田孝一郎²、由良義明¹、上崎善規²
(¹大阪大院・歯・口腔外科第二、²同・薬理)
- 14:03 C-12 PC12 細胞におけるブロモクリプチンの神経突起伸長作用
○小田徹、久米利明、泉安彦、赤池昭紀
(京都大院・薬・薬品作用解析)
- 14:15 C-13 グルタミン酸による骨芽細胞の増殖制御メカニズムの解析
○宇野恭介、宝田剛志、米田幸雄
(金沢大院・自然科学・薬物)
- 14:27 C-14 海馬由来初代培養神経細胞におけるグルタミン酸誘発性神経細胞死に対する ATP の保護効果
○加藤俊亮、及川弘崇、中道範隆、米田幸雄
(金沢大院・自然科学・薬物)

痛覚・炎症

座長：亀井千晃、河野茂勝

- 14:39 C-15 視覚誘発電位に対するオピオイド系鎮痛薬の影響
○黒田 健、武田康宏、武智研志、亀井千晃
(岡山大院・医歯薬総合・薬効解析)
- 14:51 C-16 神経因性疼痛発症機構における Cl^- 輸送体の関与
○北山友也、森田克也、本山直世、岡 広子、土肥敏博
(広島大院・医歯薬総合・歯科薬理)
- 15:03 C-17 CB_2 受容体拮抗薬の脊髄くも膜下腔内投与による疼痛関連行動の発現について
○長岡高史¹、渡辺千寿子¹、溝口広一¹、米澤章彦¹、小松生明²、櫻田司²、櫻田忍¹
(¹東北薬大・機能形態、²第一薬大 薬理 (I))
- 15:15 C-18 脊髄内および末梢組織内の硫化水素による痛覚過敏：
 $\text{Ca}_v3.2$ T 型カルシウムチャネルの関与について
○前田佑美¹、青木優佳¹、高橋知子¹、関口富美子¹、西川裕之²、川畑篤史¹
(¹近畿大・薬・病態薬理、²扶桑薬品・研開セ)
- 15:27 C-19 ビンクリスチン誘発アロディニアにおける炎症性サイトカインの関与
○木口倫一、前田武彦、敦賀美恵、岸岡史郎
(和歌山県医大・薬理)
- 15:39 C-20 モルモットにおけるアレルギー性鼻炎症状に及ぼす多環芳香族炭化水素の暴露の影響
○岩田博光¹、水谷暢明^{1,3}、藤井正徳¹、奈邊 健¹、吉野 伸³、平山晃久¹、河野茂勝¹
(¹京都薬大・薬理、²同・公衆衛生、³神戸薬大・薬理)

細胞内ストレス

座長：川畑篤史、前田定秋

- 15:51 C-21 ヒト肺胞由来上皮細胞における PAR_2 誘起プロスタグランジン E_2 産生亢進に対するクルクミンの抑制効果
○守行和美¹、松原かおり¹、関口富美子¹、西川裕之²、川畑篤史¹

(¹ 近畿大・薬・病態薬理、² 扶桑薬品・研開セ)

- 16:03 C-22 ラット脊髄後根神経節細胞における抗腫瘍薬によるサブスタンス P 放出機構の解明
○宮野加奈子、唐 和斌、森岡徳光、井上敦子、仲田義啓
(広島大院・医歯薬総合・薬効解析科)
- 16:15 C-23 脳アストロサイトにおいて ATP/ニコチン併用によるサブスタンス P 生合成系亢進とその遊離機構
○中村茉由、唐 和斌、宮野加奈子、井上敦子、仲田義啓
(広島大院・医歯薬総合・薬効解析科)
- 16:27 C-24 ミクログリアの一酸化窒素産生における cGMP 系を介したネガティブフィードバック機構
○武田存央、吉岡靖啓、山室晶子、笠井淳司、前田定秋
(摂南大・薬・薬物治療)
- 16:39 C-25 小胞体ストレスへの casein kinase 2 の関与およびその機能解析
○是松健太¹、細井徹¹、堀江直裕²、野村靖幸^{2,3}、小澤光一郎¹
(¹ 広島大院・医歯薬総合・治療薬効、
² 北海道大院・薬・薬理、³ 横浜薬大)
- 16:51 C-26 新規小胞体ストレス応答制御薬物の解明 ～アミロライドの薬理作用～
○糸 綾香¹、細井 徹¹、齋藤 敦²、大熊康修^{2,3}、野村靖幸^{2,4}、
小澤光一郎¹
(¹ 広島大院・医歯薬総合・治療薬効、² 北海道大院・薬・薬理、
³ 千葉科学大・薬・薬理、⁴ 横浜薬大)

D 会場 (9 階 903-905)

消化器薬理

座長：石川直久、竹内孝治

- 9:30 D-1 ラットにおけるインドメタシン誘起小腸損傷に対するマレイン酸イルソグラジンの効果
○亀位耕平、畑澤 亮、谷上真由、久保儀和、竹内孝治
(京都薬大・薬物治療)
- 9:42 D-2 デキストラン硫酸ナトリウム (DSS) 誘起大腸炎の治癒における一酸化窒素 (NO) の役割
○寺嶋 俊、青井陽子、西尾 光、加藤伸一、竹内孝治
(京都薬大・薬物治療)
- 9:54 D-3 セルレイン誘発性急性膵炎における PACAP の役割
○桜井佑介、浜上堅一、池田和哉、楠本慶介、新谷紀人、橋本 均、馬場明道
(大阪大院・薬・神経薬理)
- 10:06 D-4 ラット結腸平滑筋の収縮および弛緩における筋小胞体の異なる役割
○竹内正吉、中嶋秀満、東 泰孝
(大阪府大院・生命環境・獣医・応用薬理)
- 10:18 D-5 ラット腸間膜動脈血管の血管周囲交感神経を介する CGRP 神経性血管弛緩反応における proton の関与
○宮下智子¹、平井和浩¹、北村佳久²、高山房子¹、川崎博己¹
(¹岡山大院・医歯薬総合・臨床薬学、²同・医薬管理)
- 10:30 D-6 新規体内物質 Naofen の細胞増殖作用との関係
—CCl₄ 肝硬変および肝部分切除実験を基にして
○安軍^{1,2}、馮国剛²、李暢²、黄磊²、O. Wongsawatkul²、小出龍郎³、野浪敏明¹、石川直久²
(¹愛知医大・消化器外科、²同・薬理、³愛知学院大・保健セ)
- 10:42 D-7 ラット正常胃粘膜上皮 RGM1 細胞における PAR1 活性化誘起プロスタグランジン E₂ 産生に対するチアゾリジンディオン系薬物の影響
○高岡香保理、信貴秀矩、関口富美子、川畑篤史
(近畿大・薬・病態薬理)

- 13:15 D-8 ショ糖溶液摂取中のヒスタミン神経系活性の変化の意義
○石塚智子^{1,2}、Treesukosol Yada³、森本 彩²、千田佳苗²、
堤 慎太郎²、山本 隆³、大和谷 厚²
(¹ 鈴鹿医療科学大・東医研、² 大阪大院・医・保健、
³ 同・人間科学)
- 13:27 D-9 鍼刺激がもたらす鎮痛効果に対する脳内ヒスタミン神経系の関与
○室谷知孝¹、石塚智子³、王 曉明⁴、佐々木和郎⁴、大和谷厚^{1,2}
(¹ 大阪大院・医・保健、² 同・子どものこころ、
³ 鈴鹿医療科学大・東医研、⁴ 同・鍼灸)
- 13:39 D-10 ヒスタミンH₃受容体を介するノルアドレナリントランスポーターの
機能抑制について
○十川紀夫¹、十川千春¹、大山和美²、小野寺憲治¹、北山滋雄¹
(¹ 岡山大院・医歯薬総合・歯科薬理、² 同・歯・RI 実験施設)
- 13:51 D-11 Histidine による中枢 H₃ 受容体を介した降圧効果について
— 自然発症高血圧モデルラットを用いた検討 —
○中森亜矢子¹、鳴瀧雅子¹、田中良実¹、雪矢良輔¹、鳥羽裕恵¹、
小原 幸¹、針生 仁²、時高正明²、中田徹男¹
(¹ 京都薬大・医療薬学・臨床薬理、² (株) シマヤ・商品開発)
- 14:03 D-12 ヒトヒスタミン H₁ 受容体遺伝子発現調節機構の解明
○坂本典子¹、山脇洋輔¹、水口博之¹、堀尾修平¹、藤本勝巳²、
福井裕行¹
(¹ 徳島大院・ヘルスバイオサイエンス研・薬・分子薬物、
² 広島大院・医歯薬総合・口腔生化)
- 14:15 D-13 細胞依存的ヒスタミン H₁ 受容体遺伝子発現の経時変化
○宮本裕子¹、黒田若奈²、水口博之¹、藤本勝巳³、北村嘉章²、
武田憲昭²、福井裕行¹
(¹ 徳島大院・ヘルスバイオサイエンス研・薬・分子薬物
² 同・医・耳鼻咽喉科学、³ 広島大院・医歯薬総合・口腔生化)

- 14:27 D-14 Galantamine によるミクログリアのアミロイドβ 貪食促進作用の解析
○佐伯真菜¹、北村佳久¹、高田和幸¹、下濱 俊²、谷口隆之¹
(¹京都薬大・21 世紀 COE・病態生理、
²札幌医大・医・神経内科)
- 14:39 D-15 アミロイドβ 蛋白脳内注入マウスの空間認知傷害に対する非毒性アミロイドβ 蛋白断片(Aβ32-34)の保護効果
○熊 正梅、北川 香織、稲垣 千代子、中邨 智之
(関西医大・薬理)
- 14:51 D-16 新規因子 Hyperplasia-associated gene of beta cell (HPGB) によるミトコンドリア機能制御
○北村和之、池田和哉、浜上堅一、新谷紀人、橋本 均、馬場明道
(大阪大院・薬・神経薬理)
- 15:03 D-17 食餌制限による視床下部 c-Fos 発現調節
○梅原隼人¹、水川奈己¹、佐藤 豪²、水口博之¹、森川吉博³、
仙波恵美子³、武田憲昭²、福井裕行¹
(¹徳島大院・ヘルスバイオサイエンス研・薬・分子薬物
²同・医・耳鼻咽喉科学、³和歌山医大・第二解剖)
- 15:15 D-18 放射線全身照射後の自律神経症状に対するグラニセトロンの効果
○岡村啓太、山本浩一、浅野景子、山本隆史、大和谷 厚
(大阪大院・医・保健)
- 15:27 D-19 ヘパリン結合性上皮成長因子 (HB-EGF) 欠損マウスの行動解析
○大八木 篤¹、種田靖久¹、嶋澤雅光²、森口茂樹³、難波大輔⁴、
山口和政⁵、古田泰秀⁶、福永浩司³、東山繁樹⁴、原英彰^{1,2}
(¹岐阜薬大・薬効解析、²同・生体機能分子、
³東北大院・薬・薬理、
⁴愛媛大院・医・生化学・遺伝子分野、
⁵日本バイオリサーチセンター、
⁶テキサス大・MD アンダーソン癌センター・生化学・分子生物)
- 15:39 D-20 老化促進マウス (SAMP8) の加齢に伴う学習記憶障害に対する
Magnolol, Honokiol の効果

○松井敦聡¹、高橋和樹¹、武市美穂¹、黒下統麻¹、野口香織¹、
山崎香奈¹、西井ゆみこ¹、福石信之¹、福山愛保²、赤木正明¹
(¹徳島文理大・薬・薬理、²同・薬品物理化学)

腎・泌尿器薬理

座長：中田徹男、永松 正

- 15:51 D-21 腎メサンギウム細胞において糖化 cholesteryl 凝集タンパクにより
発現した IGF-1 及び TGF- β 1 のオートクライン作用
○坂井孝行¹、平澤康史²、永松 正¹
(¹名城大・薬・臨床疾患制御、²日本バイオリサーチセンター)
- 16:03 D-22 腎メサンギウム細胞における凝集タンパクの取り込みに対する EP
受容体及び IP 受容体の関与
○伊藤 豪¹、平澤康史²、永松 正¹
(¹名城大・薬・臨床疾患制御、²日本バイオリサーチセンター)
- 16:15 D-23 新規プロスタグランジン輸送体 OAT-PG の機能の検討
○波多野 亮^{1,2}、平田 拓³、武藤重明⁴、松原光伸²、金井好克¹
(¹大阪大院・医・生体システム薬理、
²東北大院・医・遺伝子医療開発、
³杏林大・医・薬理学、⁴自治医大・腎臓内科)
- 16:27 D-24 Spironolactone による腎・血管内皮保護効果に占める抗酸化作用の寄
与度についての検討
○三谷卓哉、村上昌史、芹澤亮子、今井延佳、鳥羽裕恵、小原 幸、
中田徹男
(京都薬大・医療薬学・臨床薬理)
- 16:39 D-25 Erythropoietin は造血を超えて糖尿尿性腎症を軽減する
○森田洋亮、鳥羽裕恵、澤井直樹、中島浩平、吉田満美子、
森下真行、小原 幸、中田徹男
(京都薬大・医療薬学・臨床薬理)

市民公開講座

後援：沢井製薬株式会社

15:00 A 会場（5 階 ライフホール）

主題：「あなたのお薬を考えよう」

講演テーマ「ジェネリック医薬品という選択」

北摂総合病院 理事

臨床心臓病教育研究会 理事

元オクラホマ大学医学部 教授

中野次郎 先生

座長：大阪大学大学院 薬学研究科 教授

馬場明道

ランチョンセミナー 1

提供：国際医薬品臨床開発研究所

12:00 B 会場（5 階サイエンスホール）

「マイクロドーズ臨床試験・探索的 IND 試験をめぐる最近の情勢」

（株）国際医薬品臨床開発研究所

馬屋原 宏 理事

座長：鳥取大学名誉教授

医療法人 平心会 大阪医薬品臨床開発診療所 所長

伊藤 忠雄

ランチョンセミナー 2

提供：日本エスエルシー株式会社

12:00 C 会場（5 階 501-503）

「法令・指針による動物実験の適正化」

筑波大学 人間総合科学研究所 教授

八神健一先生

座長：日本エスエルシー株式会社

バイオテクニカルセンター受託試験部

生殖・発生工学グループ 課長

鈴木登志郎